

留学報告書

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2023年9月～ 2023年12月
留学時の学年	4年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2023年12月23日
明治大学卒業予定時期	2024年3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	Gustavson School of Business
キャンパスの所在地	3800 Finnerty Rd. Victoria, BC V8P 5C2, Canada
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期：月～ 月（期末試験期間： ） 秋学期：9月～6月（期末試験期間：約3週間）
所属学部の学生数	約1,300人
留学生の割合	7.5%（交換留学生の割合）

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料	0 CAD	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舎費	3750 CAD	393,500円	一ヶ月：約100,000円
食費	1,800 CAD	189,000円	一ヶ月：約47,250円 ※meal planを除く ※食べ過ぎました。
通学費	0 CAD	0円	一ヶ月：0円 ※キャンパス内の寮に滞在したため
学校用品	50 CAD	5,250円	電卓及び文房具の購入
教養・娯楽費	623 CAD	65,415円	博物館への入館・スポーツの試合観戦など
被服費	223 CAD	23,415円	お土産用に数着購入しました。
医療費	0 CAD	0円	
保険費	265.05 CAD	27,825円 48,280円	保険会社：Mandatory Temporary Medical Insurance (MTMI) 東京海上日動火災保険（学校指定）
渡航費	4339.4 CAD	455,640円	早期の航空券予約をお勧めします。
旅行費	1,993 CAD	209,265円	留学中に旅した国：アメリカ合衆国
語学学校	0 CAD	0円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金	(3,047.6 CAD)	(320,000円)	奨学金：320,000円 助成金：0円 ※日本学生支援機構 JASSO さんに支援をいただきました。
その他	250 CAD	26,250円	約4ヶ月分のeSIM代
合計	10,245.85	1,123,840円	学校指定の保険金は円建てで支払いました。

渡航について

1) 航空券を購入した時期	
<input type="checkbox"/> 留学先へ出願後 <input checked="" type="checkbox"/> 入学許可書受領後 <input type="checkbox"/> ビザ取得後 <input type="checkbox"/> 出発直前 <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) どのように購入しましたか?	
航空会社のホームページにて購入しました。	
3) 渡航経路を教えてください。	
(往路)	成田国際空港 — バンクーバー国際空港
(復路)	バンクーバー国際空港 — 成田国際空港
4) 航空券代金	
利用航空会社: Air Canada	
	往路: _____
	復路: _____
	合計: 455,645 円 ※往復航空券を購入しました。
5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。	
航空券の購入は代理店を介さず、できるだけ早めに確保することをお勧めします。	

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数:)	
3) 住居の探し方	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先機関が斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探す	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)	
利用交通機関	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
通学時間 (片道)	5 分
5) 滞在中の食事について	
【平日】	【休日】
朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)	
自炊をお勧めします。学校内に食堂(The Cove)がありますが、500ml のジュースに 5 CAD、サンドウィッチの購入に 8 CAD かかるなど非常に高いためです。住居がクラスターハウジング(キッチン・トイレ・シャワーなどは共用するタイプ)の場合、冷蔵庫や収納スペースが十分に確保されているため、自炊にチャレンジすると良いかもしれません。また、友達が炊飯器を保持している場合は、貸してもらおうと思います。大学からバスで 10 分ほどに、Fujiya という日本食料品・雑貨品店があるため、日本食や日本製品についての心配は要りません。その他、バスで 10 分ほどに Hillside mall があり、中に Walmart や Dallarama といった比較的安いグロサリーストアがあるため、積極的に利用することをお勧めします。	

現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか?

<input type="checkbox"/> はい (利用機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか?	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない	
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか?	
基本的に同じクラスターに住む友達や、コミュニケーションパートナーなどに相談していました。	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか?	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない	
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか?	
情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input type="checkbox"/> 友人 <input checked="" type="checkbox"/> ネット (参考サイト: 在バンクーバー日本領事館) <input type="checkbox"/> その他 ()
防犯対策	部屋の鍵及びクレジットカードホルダーにチェーンを装着してズボンに装着するなど。
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか?	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
7) 6で「はい」と答えた方: その際どのように対処しましたか?	
8) パソコン, 携帯電話, インターネットについて, 現地での利用状況はいかがでしたか?	
パソコン	特に問題はありませんでした。
インターネット	備え付けられた生徒用の Wi-Fi がありますが、たまに電波が悪くなります。
携帯電話	特に問題はありませんでした。渡航する前に SIM カードをレンタルしました。
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか? お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
日本で、外貨でも使用可能な銀行口座及びクレジットカードを発行しました。現地での銀行口座開設も可能のようですが、銀行によります。Scotia Bank で口座開設を試みた際には、学生用ビザがないということで断られてしまいました。しかし TD Bank ではビザ無しでも可能のようです。	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
特にありません。大学から徒歩圏内に中華系のグローサリーストア Weidu や、バスで 10 分ほどの距離に日本用品店 Fujiya があり、基本的に日本のものはなんでも揃えることができます。特に Fujiya の存在は自炊をする上で大変助かりました。	
進路について	
1) 進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他 ()	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか?	
10 月頃に海外大学院に出願をし、11 月ごろに条件付き合格をもらいました。	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	
企業名	(差支えなければご記入ください)
業界	
その企業或いは業界を選んだ理由	

4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	11月頃
進学先	(無回答)
その進学先を選んだ理由	インターナショナルビジネス及びマーケティングの勉強を本格的にしたいと思ったからです。
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。	
9月頃から出願受付が始まるため、事前に準備をすることをお勧めします。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	

留学に関するタイムチャート

2022年7月～12月 募集要項公開～選考試験日	情報収集を主にしていました。身近なところでは明治大学の経営学部HP上において公開されている留学報告書や、実際に協定校のHPを閲覧するなどしました。
2023年1月～5月 合格発表後～出願準備期間	秋学期からの留学予定だったため、春学期においては基本的に英語で行われる授業を集中的に履修しました。中でも駿河台キャンパス開講のビジネスプレゼンテーション、和泉キャンパス開講のストラテジック・ビジネスコミュニケーションは語学学習においても専攻への理解という点においても大変役に立ちました。
2023年6月～8月 出願後～渡航の準備	航空券の予約や衣服の用意など、持参する生活用品の準備を散発的に行なっていました。個人的な感想ですが、夏服は上下一着ほどあると便利かもしれません。9月初旬は非常に暑く、日差しも厳しいものでした。
2023年8月 留学開始直前	オンライン英会話などで授業を受講するなど、慣れるために意図的に話す機会を以前より増やしていました。
2023年9月 留学開始	オリエンテーションが学内のパブで開催され、友達を作ることができました。当時は非常に暑く、また時間的にも余裕があったため学内の中庭でサッカーやキャッチボールをしていました。
2023年10月～11月 留学中	中間テストが10月の下旬にかけて授業ごとに行われ、忙しい日々を送っていました。しかしながら、11月上旬に約1週間の休暇期間(reading break)が設定されているため、それをモチベーションにテスト勉強を行なっていました。

2023年11月～12月 留学中（或いは帰国後）	Reading break 期間中は、卒業論文の作成を中心に行なっていました。友達の留学生はアメリカなどに旅行に行くなど、しばしキャンパス内も閑散としましたが、勉強するには絶好の機会になりました。また、だんだんと寒さが増し始めた時期でもあり、マフラーや手袋をするなどして暖をとっていました。
2023年12月 留学中	期末テストが12月初旬から中旬に設定されていたため、必死に勉強していた記憶しかありません。難易度自体も中間テストより高く、入念な準備が必要な印象を個人的に受けました。また、当時は寒さがピークだったため、軽い風邪をひいてしまいました。
2023年12月～ 2024年1月 帰国後	留学中に学び得たことを活かし、現在も学習を継続しています。特に留学中に英文会計の学習を開始したため、今後も継続するつもりです。その他は、親族や友達にお土産を渡したりしました。

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
学生時代を通じて取り組んできた語学学習から得た経験を用いて、専攻科目である経営学への理解を深めたからです。言語はあくまでもコミュニケーションのためのツールでしかなく、大切なことはそれらを用いて何かを学び経験を得ることだと個人的に考えています。コロナウイルスの感染拡大の影響で1,2年生の際には海外留学を思い切ってしまうことができませんでしたが、大学生生活の集大成として、これまで学んできたことや語学学習の成果を試してみようと思いました。	
語学について	
受験した語学能力試験	<input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input checked="" type="checkbox"/> その他（試験名：実用英語技能検定）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	ニュースやドラマ、アニメなどといった日常的に視聴するコンテンツを英語にしてみるといいかもしれません。
総合的なアドバイス	英語を日常の一部に埋め込むことが効果的だと思います。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
以前、短期語学留学プログラムでカナダの同州への留学経験があり、ほんの少し土地に慣れていると感じたからです。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	自然に溢れていて、基本的に静かで穏やかな印象です。
学生	メリハリがついている印象です。テスト週間では図書館や食堂がある棟は学生で溢れかえり、各々が勉強に打ち込みますが、ハロウィーンや Thunder Fest(学園祭のようなもの)の際には盛り上がりを見せ、楽しい雰囲気がありました。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	UVic Global Community にコミュニケーションパートナーを要請することができます。週に一回程度で連絡を取り合い、お互いの学習状況やヴィクトリアでできるアクティビティの情報を教えてもらったりしました。他には、クラスターハウジングに滞在していたため、他の生徒とお互いの国の文化や趣味について語り合いました。ちょうど MLB のプレーオフ、NFL の開幕時期だったため、一緒に試合を見たりしました。

<p>留学生との交流</p>	<p>留学を通じて仲が良くなった友達とバンクーバーへ小旅行に行ったりしました。当時は MLS(カナダとアメリカ合同で運営されるプロサッカーリーグ)のバンクーバーのチームがプレーオフに進出したりなど街が非常に盛り上がっていたので、一緒に試合観戦を行いました。他にはカナダ BC 州の原住民コミュニティの歴史や文化を学習できる博物館に赴いたりしました。</p>
<p>留学先大学主催のイベントについて教えてください。</p>	
<p>ThunderFest なる学園祭のようなものが、学期が始まってすぐの 9 月あたりに開催されます。学生組合の棟の前には様々な屋台やブースが並び、文字通りお祭りのような雰囲気になります。また、UVic のサッカー部やバスケットボール部が ThunderFest の期間中に開催される試合のチケットをその際に販売するので、購入して友達と観戦に行きました。スタンドにはすごい観客の数で、とても驚きました。</p>	
<p>課外活動について教えてください。</p>	
<p>Intermural なる制度があり、どの学生でも気軽に参加できるスポーツプログラムがあります。33 ドルの前金を大学の HP 上で支払う必要がありますが、フットサルやサッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトボールなどのチームがあり、学期間一時的に入部することができます。雰囲気はかなりフレンドリーで、気軽に参加できることからサークルのような雰囲気も感じました。活動頻度は週に 1 回程度であり、授業がない日を活動日にするチームに参加することをお勧めします。</p>	
<p>一日の課題の量を教えてください。</p>	
<p>各科目 2 時間程度です。Reading materials の量に、留学して最初の頃は圧倒されましたが、時間を経ることで慣れました。読むスピードは速い方が良いと感じました。課題の形式は授業により異なりますが、7 割型は提示された資料を精読し理解するというタイプだった印象です。</p>	
<p>期末試験について教えてください。</p>	
<p>12 月の初旬から中旬にかけて行われます。課題形式は授業によって異なりますが、COM100 understanding World Class Organization においては、総合して約 2,400 字の記述問題が制限時間 3 時間で設定されており、非常に苦戦したことを覚えています。アカデミックライティングの練習を行っておくと良いかもしれません。基本的にはどの科目においても記述式の問題が設定されている印象を受けました。</p>	
<p>留学先で直面した困難（壁）について教えてください。</p>	
<p>COM400 Strategic Management でのグループワークでの経験は非常に勉強になりました。授業の内容としては、3~4 人のグループで、AI シミュレーションを用いて学期間を通し擬似的に会社経営を行います。しかしながら、自分のチームメイトはスペイン人留学生 2 人であり、基本的に 2 人でスペイン語を話していました。また、基本的に 2 人は授業を欠席するので、もちろんチーム成績は最下位になってしまい、毎週授業では教員や他の生徒から半ばハラスメントのような言動を浴びせられることもありました。最終的にはかなり強く 2 人に対して主張をしましたが、喧嘩ができる程度の語学力と強く主張できるほどの度胸はあったほうが良いかもしれません。</p>	
<p>これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。</p>	
<p>恐れずに挑戦してみてください。個人的に感じた大きな違いは、得た知識をアウトプットする量と頻度です。数十人の前で自分自身のアイデアをプレゼンしたり、レポートや動画を制作する機会などがあります。しかしながら、授業自体のレベルや内容は、よくよく見てみればどこかで聞いたようなことや、既に日本で学習したことがほとんどだと思えます。是非とも、自分自身を Comfort Zone の外に置いて、新たな環境で勉強することに挑戦してみてください！とても楽しく手応えのある経験になると思います！</p>	

留学先で履修した授業科目

記入日：2024年1月17日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先	University of Victoria ヴィクトリア大学
2) 留学先で取得した単位数	6.0
3) 本学で認定された単位数	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数：12） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）

4) 留学先で履修した科目について

履修した授業科目名①

COM100 UNDERSTANDING WORLD-CLASS ORGANIZATION

科目設置学部	経営学部
履修期間	13週間 80分×2回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 80分の授業が週2回
担当教授	Mark Colgate
授業内容	グローバル展開をする北米企業を参考に、マーケティング・人事労務管理・生産管理・会計などを総合的に学習。
試験・課題など	毎授業ごとに Reading materials が提示される。期末試験には約 2000 字のエッセイなど。
感想を自由記入	専門的分野を集中的に勉強する科目とは異なって、経営に必須な知識が広範囲にカバーされており、他授業において学習した内容の再確認や応用ができた点が良かった。特に最終試験のエッセイにおいてはこれまでに培ってきた知識を総動員して記述にあたる必要があるため、継続的な授業内容の復習が必要となる。

履修した授業科目名②

COM220 Organizational Behavior

科目設置学部	経営学部
履修期間	13週間 80分×2回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 80分の授業が週2回
担当教授	Andie (Jung Won) Lee, Ph.D.
授業内容	モチベーション理論・組織論の学習が主。
試験・課題など	試験形態は筆記で、Multiple choices が約 6 割、筆記が約 4 割となっている。
感想を自由記入	担当の先生はサムソン電子や日本たばこでの勤務経験がある韓国人の方で、授業中において組織論の話が行われている際は、アジアの企業など身近な例を挙げて丁寧に説明していただいたので、理解するのに非常に助けられた。授業課題の一つに、他の生徒と一緒に実際にローカルビジネスのオーナーにイン

	タビュウを行う機会があり、従業員のモチベーション管理などを考える上でとても参考になった。
履修した授業科目名③	
COM250 FUNDAMENTALS OF MARKETING	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 80 分×2 回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 13 回
担当教授	Dr. Linda Shi
授業内容	授業名通り、主にマーケティングを中心に様々な携帯のマーケティング方法やブランディングを学んだ。また、プライシングについての授業もあるため、製品をエンドユーザーに届けるまでの一連のフローを総合的に学ぶことができる。
試験・課題など	約 6 割が multiple choices のクイズ形式、約 4 割が筆記式になっている。
感想を自由記入	中間試験・期末試験課題として、他の生徒とチームを組んで、企業やブランドを一社選定し、それに対して架空のビジネスアイデアの提案を行う機会があった。教室でのプレゼンテーションに加えてレポートの作成を行う必要があるが、マーケティングの知識を総動員してアイデアを創出する必要があるため、プレゼンが終わり拍手を受けた後は非常に達成感があった。
履修した授業科目名④	
COM400 STRATEGIC MANAGEMENT	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 80 分×2 回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 13 回
担当教授	Sudhir Nair, PhD
授業内容	最初の 4 週間はインプット期間として設定され、提示される書籍を用いて経営学全般の知識を集中的に積み込む。その後は会社経営の AI シミュレーションを用いて、知識の応用に移る。
試験・課題など	期末試験はなく、最終レポートが代替する。小テストは Reading Break の前に 2 回ほど設定されている。
感想を自由記入	会社経営の AI シミュレーションに関しては、他の生徒と 3~4 人ほどでチームを組み、6 チーム対抗で経営成績を競う。自分のチームメイトはスペイン人 2 人であり、英語も喋らず基本的に授業を欠席するため、全くもって勝負にすらならなかった。チーム分けには多少の運要素があるのかもしれない。しかしながら、経営シミュレーションには製品の研究開発・プライシング・マーケティング・会計など、様々な分野において高度な知識が要求されるため、経営学の集大成として設定されているような授業でもある印象を受けた。個人的には財務諸表から経営分析をする作業がとても楽しかった。
履修した授業科目名⑤	
科目設置学部	
履修期間	